

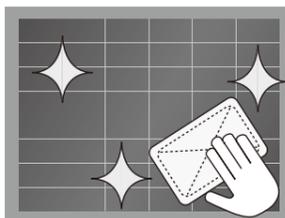
ソーラーパネル

●ソーラーパネルの表面にゴミや汚れなどが付くと、太陽光を十分に受けることができなくなり、発電能力が低くなります。発電能力が低くなるとバッテリーの電圧が低下し、最後には運転できなくなってしまいます。パネルの表面を柔らかい布で拭くなど、**いつもきれいな状態**でお使いください。

●ソーラーパネルの受光面に物を落としたり、傷をつけたりしないでください。

●ソーラーパネルは**絶対に分解しないでください**。故障の原因になります。修理は弊社またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●本品はアニマルキラー4300、4300Ⅱ(乾電池、ソーラー、100V電源タイプ)専用です。他の本器や他の用途には絶対に使わないでください。故障の原因になります。(※ご使用の電気さく本器がアニマルキラー4300DC2-ADなど100V電源タイプの場合は、別途「電池ケース完備(ソーラータイプ)」が必要になります。)



ソーラー用バッテリー

●長期間使用しないときでも、**3ヶ月に1度は必ず充電してください**。**ソーラー用バッテリーの充電はソーラーパネルで行います**。電気さくを運転するときのようにソーラーパネルとソーラー用バッテリーを接続し、太陽のよく当たる場所に置いてください。その際、本器の「停止」ボタンを押し、**運転しないでください**。**市販のバッテリー充電器を使って充電しないでください**。

●ソーラー用バッテリーは通常のご使用で3~5年お使いいただけます。太陽光がソーラーパネルに十分当たっているにもかかわらず、本器が運転できないときや、さく線の電圧が低いときは、さく線に下草などが触れて、漏電していないことを確認のうえ、バッテリーを交換してください。交換バッテリーには**タイガー純正ソーラー用バッテリー**をご使用ください。

アニマルキラー4300=電池交換ランプが常時点灯しているときは、バッテリーを交換してください。
アニマルキラー4300Ⅱ=停止/電池確認ボタンを押しても電池確認ランプが点灯しないときは、バッテリーを交換してください。

- 長期間使用しないときは、必ず充電し、バッテリーと電池コードの接続を外して、冷暗所に保管してください。保管中は3ヶ月に一度、必ず充電してください。充電はソーラーパネルで行ってください。
- 長期間保管した後は、再使用する前に必ず充電してください。
- バッテリーに水を掛けたり、水没させたりしないでください。

仕様

商品名 ソーラーパネルキット(バッテリー付)
型式 TAK-SLP5

ソーラーパネル	過充電防止装置付き(パネルに内蔵)	ソーラー用バッテリー	完全密閉式バッテリー
	出力/5.0W		電圧/12V 容量/6.5Ah

本仕様は改良のため予告なく変更になる場合があります。

●資料請求・ご購入に関するご相談はこちらへ。
*鳥獣害防止の得意技あります。
タイガー株式会社
製造販売 ホームページ: www.tiger-mfg.co.jp



本社/大阪支店 〒565-0822 大阪府吹田市山田市場10番1号
TEL: 06-6878-5421 FAX:06-6875-5677
E-mail: info@tiger-mfg.co.jp

東京支店 〒262-0023 千葉県花見川区検見川町5丁目2348番地3-A
TEL: 043-298-4888 FAX:043-298-4889
E-mail: animal@tiger-mfg.co.jp

九州支店 〒862-0969 熊本市南区良町2丁目8番12号
TEL: 096-378-0852 FAX:096-378-0906
E-mail: kyuusyuu@tiger-mfg.co.jp

東海支店 〒565-0822 大阪府吹田市山田市場10番1号(本社内)
TEL: 06-6878-5413 FAX:06-6878-5414

甲信越営業所 〒381-0045 長野県長野市桐原1丁目7番地1号101
TEL: 026-239-7591 FAX:043-298-4889 (東京支店)

奈良営業所 〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町463-1-10
TEL: 0743-23-1070 FAX:0743-23-1071



ソーラーパネルキット(バッテリー付) 〈TAK-SLP5〉

このたびはソーラーパネルキット(バッテリー付)〈TAK-SLP5〉をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本商品はアニマルキラー4300、4300Ⅱ(乾電池、100V電源タイプ)をソーラータイプへ変換することができます。ご使用前に必ずこの取扱説明書、およびアニマルキラー電気さく本器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

使用上の注意

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し説明しています。
- してはいけない行為と、してはいけない行為を示しています。



警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

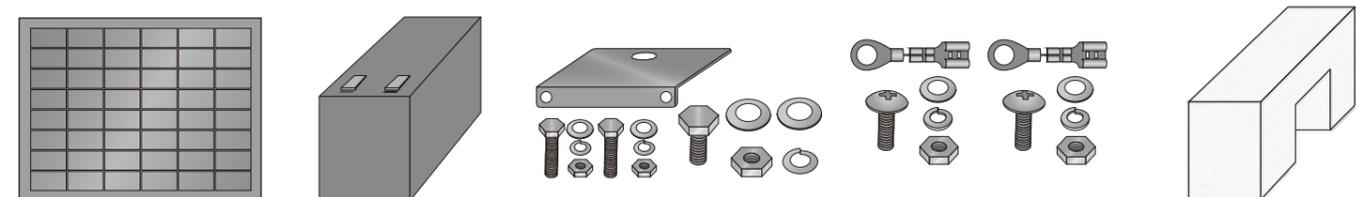
- ソーラー用バッテリーやソーラーパネルの電極(プラスとマイナス)を絶対に短絡(ショート)させないでください。激しく放電して危険なうえ、故障や火災の原因になります。
- 本品はアニマルキラー4300、4300Ⅱ(乾電池、ソーラー、100V電源タイプ)専用です。ただし、アニマルキラー4300DC2-ADなど100V電源との併用は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。

注意 誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的障害の発生が想定される内容です。(状況によっては、深刻な危険に結びつく可能性もあります。必ず守ってください。)

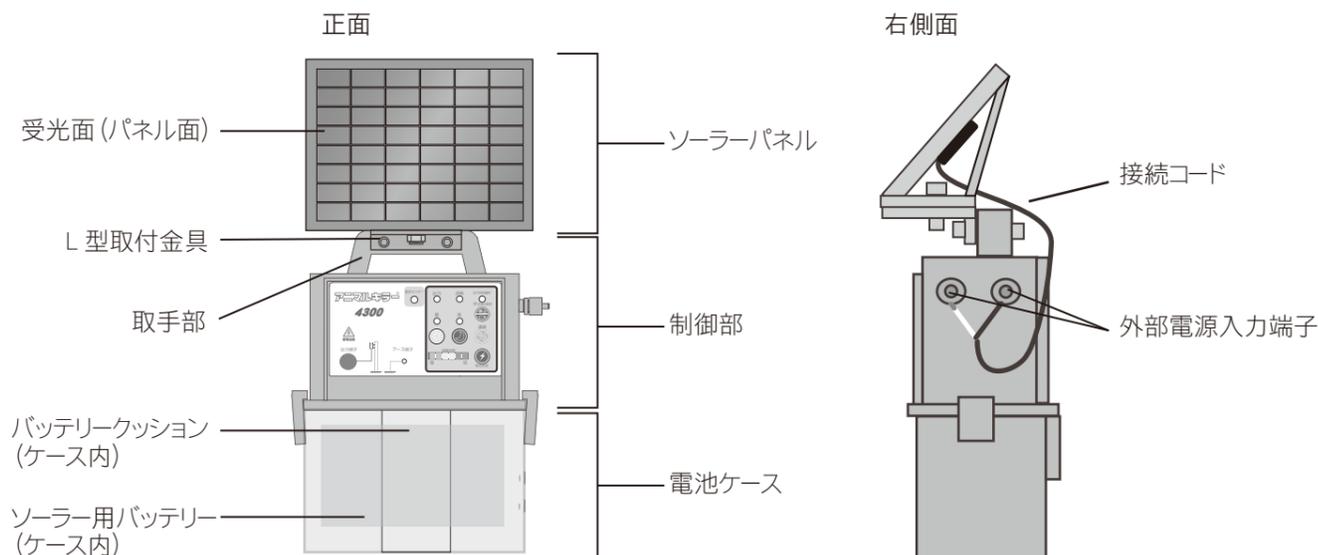
- ソーラーパネルを落としたり、物を当てたりしないでください。割れたり、傷ついたりします。
- ソーラーパネルの受光面(パネル面)に太陽光ができるだけ長時間当たるように、南に向けて配置してください。周囲に太陽光を遮る障害物(特に樹木や電柱など)がある場合には影にならないように設置してください。

付属品

ソーラーパネル 1枚 ソーラー用バッテリー 1個 L型取付金具 1式 端子コネクタ 2個 バッテリークッション 1個



各部の名称



ソーラー電源とは

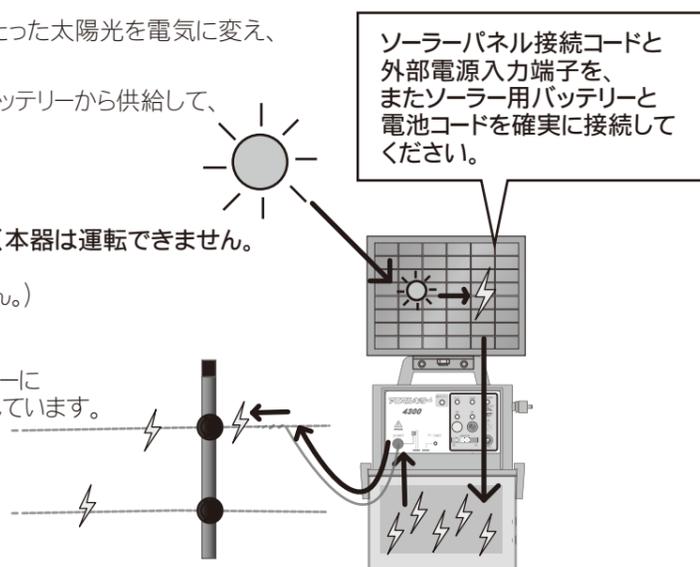
ソーラー電源とは、ソーラーパネルの受光面(パネル面)に当たった太陽光を電気に変え、電池ケース内のソーラー用バッテリーに蓄えます。

電気さく本器の運転時には、この電気を蓄えたソーラー用バッテリーから供給して、さく線に高電圧の電気を流す仕組みになっています。

次の「ソーラーパネルとバッテリーの接続」を参照し、必ず確実に接続してください。

接続されていないと、電気の供給ができないので、電気さく本器は運転できません。
(太陽光があたっている場合、出力ランプが点滅し、運転しているように見えますが、正常な出力電圧が出ません。) また故障の原因になります。

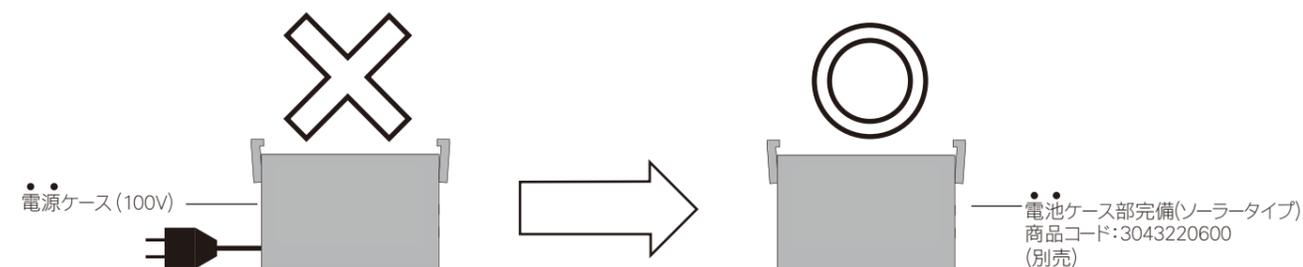
なお、このソーラーパネルには、安全のためソーラー用バッテリーに電気を溜め過ぎることを防ぐ過充電防止装置が組み込まれています。



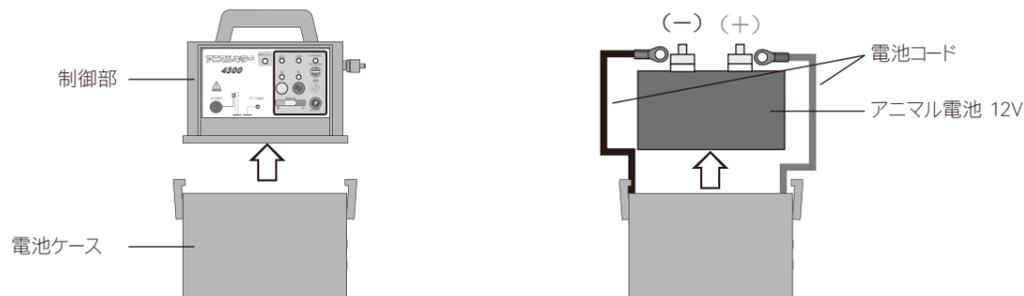
ソーラーパネルとバッテリーの接続

100V電源タイプの電気さく本器をご使用の場合は別途「電池ケース完備(ソーラータイプ)」(別売)が必要になります。

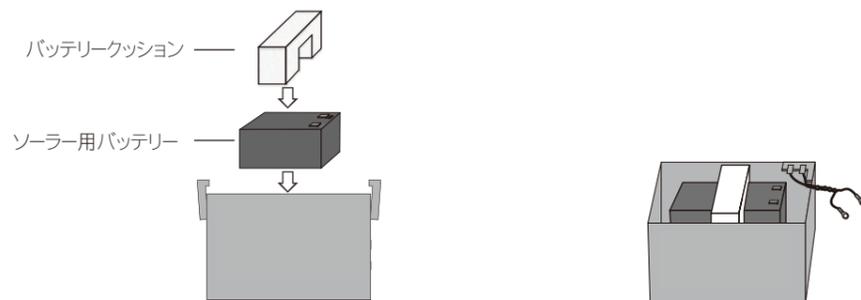
○【電源ケース】を別売りの【電池ケース完備(ソーラータイプ)】に変更してください。



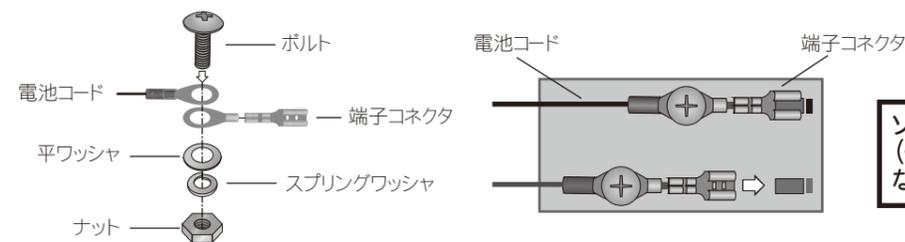
①制御部を取り外し、電池ケースに入っているアニマル電池12Vの端子と電池コードの接続を外して、取り出します。



②ソーラー用バッテリーを電池ケースに入れ、バッテリークッションで押さえる。



③付属の端子コネクタの丸型端子側と、電池コード丸型端子をボルトで固定し、(左下図参照)端子コネクタの平型端子側をソーラー用バッテリーの(+)(-)の各端子部に差込みます。

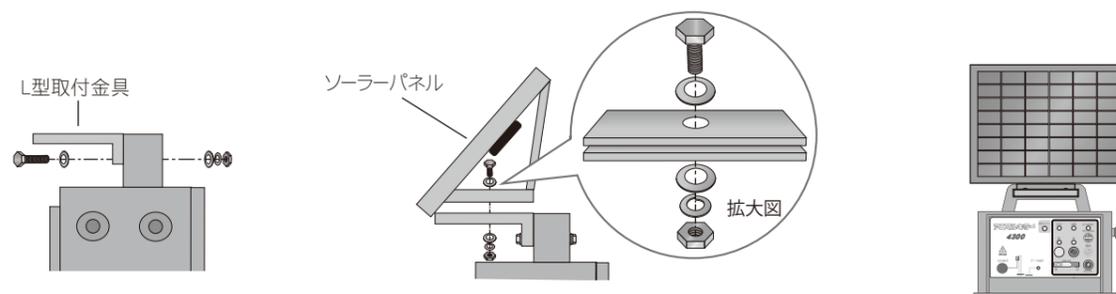


ソーラーバッテリーの端子と電池コードの(+)(-)端子=赤色同士、(-)端子=黒色同士になるように接続してください。

④ソーラーパネルを制御部の上に取り付けます。

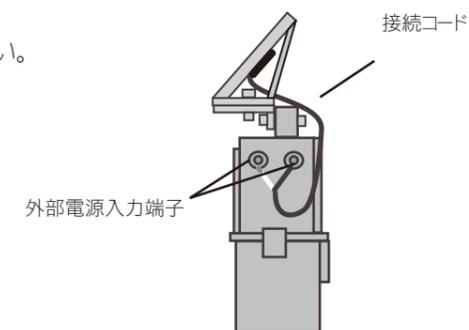
付属のL型取付金具を電気さく本器の制御部上面の取手部にボルトとナットでしっかりと取り付けた後、L型取付金具の上にソーラーパネルを置き、ボルトとナットでしっかりと取り付けてください。

ソーラーパネルの受光面(パネル面)の向きは設置する際に調節します。詳しくは「本器の設置」をご確認ください。



⑤ソーラーパネルから出ている接続コードを、制御部側面にある外部電源入力端子に接続してください。(+) (-)を間違えないように注意してください。

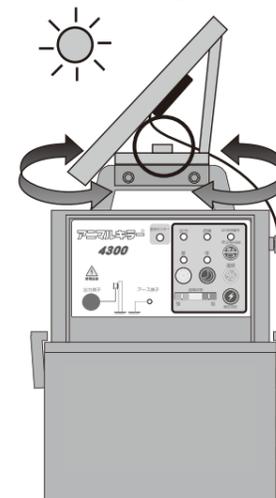
外部電源入力端子の位置は、機種により異なります。お手持ちの、電気さく本器の取扱説明書に従い正しく接続してください。



(+)端子=赤色、(-)端子=黒色です。
(+)端子同士、(-)端子同士を接続します。
絶対に逆接、短絡(ショート)させないでください。
感電、故障の原因になり、非常に危険です。

本器の設置

①本器を1日4時間以上、直射日光が当たる場所に設置し、受光面(パネル面)が南に向くように調節します。(樹木や電柱などの障害物の影にならない場所に設置してください。) L型取付金具のナットを緩め、ソーラーパネルを左右方向に回して向きを調節します。向きが決まったら、ナットを固定します。



受光量が不足するとバッテリーの電圧が低下し、電気ショックが弱くなり、防除効果が低くなります。
受光面(パネル面)の一部にでも影ができないようにしてください。